



# 2017(平成29)年度 第12期 短期インターンシップ事業報告



【目的】大学生を対象に、センター業務の就業体験を通じて、それぞれのライフイベントとも関連してくる職業生活の実情を知り、性別にとらわれることなくライフキャリア形成の見通しを立てることができるようになることを目的とする。

【実施期間】2017年8月15日(火)～8月30日(水)まで全8日間

【実施場所】川崎市男女共同参画センター、各取材場所等

【対象】大学3年生以上の就職活動予定者12名(男性:6名、女性:6名)

【募集・選考】6月～7月中旬:募集開始、書類審査及び面談/7月下旬:参加者の決定

【協力者】

大石 智弘氏(神奈川県立 生田東高等学校 教諭)  
伊藤 ルナ氏(川崎市信用保証協会 企業支援部)  
飯塚 暁子氏(あさお訪問介護支援事業所 所長)  
蟹江 脩礼氏(株式会社すずや 代表取締役)  
中谷 愛子氏、稲葉 理子氏(株式会社シーボン イベントプロモーション課、ES推進向上室)  
池橋 みどり氏(和光大学 非常勤講師)、尾形 泰伸氏(武蔵大学ほか 非常勤講師)  
認定NPO法人エンパワメントかながわ

今年度は、3つのチームに分かれて実習を行った。前半は、インターンシップ全体ミーティング、基礎研修(事業・施設の理解、業務の進め方、マナー研修)、基礎講座を座学で学び、その後、チームごとに作業をしたり、取材に出かけたりした。

【防災チーム】防災フェスタ、訓練の際に利用する防災クイズ・アンケートの作成とイベント時の準備、運営。実際のブース出展の中でクイズを企画して実施したり、調査に協力したりすること積極的な取り組みができていた。

【DV予防啓発チーム】ワークショップの体験、講座の企画についての検討、DV法に関する学習会に参加、ポスター案の作成。平成29(2017)年度は、九都県市が共通のキャッチフレーズ(言い訳にしない「好きだから」～ストップ・ザ・デートDV)でデートDV予防を実施することに伴い、所管課である人権男女共同参画室と連携し、以下の通り、10代～20代の市内在住・在学の学生を対象とした、大学生の企画するデートDV予防啓発ポスターを作成し、女性に対する暴力をなくす運動期間(11/12～11/25)に併せて、デートDVの予防啓発活動に取り組んだ。

【女性活躍推進チーム】取材活動を通じて女性活躍の推進の状況や課題について考える機会を得た。

## 参加した学生の声

・班で活動する上では、必ずしも思ったとおりには進まないと思って心にゆとりを持って行動すること。人の意見を頭から否定せず、ちゃんとその人の意見を汲み取っていくこと。

・初日に予定表を配布してくださったので7日間の流れがつかみやすかった。

ワークショップなどを通してインターンシップ生と意見が交換できたり、外部で活躍している方のお話が聞けてよかった。

・自分の知らない知識をとり入れることができた。簡易トイレの作り方など知らないことや防災について考えることが良かった。

### <右記・ポスターの制作にかかわった女子学生の声>

事前学習のワークショップで「どんな理由があっても、暴力を受けずに生きていく権利がある」という言葉を聞き、私たち若い世代が積極的に活動できたらと思います。

今回のポスターも多くの若い人に見てもらえる場所に貼ってもらえたらと思います

